

# 新理事長に宇賀神氏

## 被災地の支援続ける

水産土木建設技術センターは18日に定時総会を開き、任期満了に伴う役員改選で、新理事長に宇賀神義宣・元水産庁漁港漁場整備部長を選出した。宇賀神理事長は「まだまだ続く被災地の支援業務をしっかりと行う。またセンターは来年30周年を迎えるが、来年の総



宇賀神義宣理事長

会が今日のように平和で、笑顔で迎えられるよう努めたい」とあいさつした。

総会では全議案を承認。前年度は①東日本大震災の津波で被害を受け

た岩手県沿岸の藻場再生について、地元漁協や漁業研究会のメンバーへ技術支援②沖の鳥島のサンゴを用いた有性生殖法によるサンゴ増殖技術の開発③海藻や餌生物の

増加量を確認するため、長崎県で海藻増殖施設の潜水調査―などに取り組んだ。今年度も藻場造成の検証、水産基盤施設の長寿命化などの調査を行う。